Sylff Association

# ヤングリーダー研究奨学金

# 2025年度奨学生　募集要項

**設立趣旨:** ヤングリーダー研究奨学金は、日本財団と東京財団政策研究所、早稲田大学が共同で行う研究奨学金プログラムで、国際性豊かなリーダーの育成を目的に、世界の主要な大学でおもに人文社会科学分野を研究する大学院生を対象としています。Sylff（The Ryoichi Sasakawa Young Leaders Fellowship Fund Program）プログラムに関しては「Sylffプログラムについて」を参照してください。

**求める人物像:**

**深い教養・高度の専門性・人間力を備え、世界に貢献する高い志を持って、社会で指導的な役割を果たすリーダーとして、将来活躍することが期待できる人材**

**申請資格:** ① 早稲田大学大学院研究科修士課程、専門職学位課程または博士後期課程に在籍する正規学生で、支給期間を通じて学籍を有する者。

② 人文社会科学に基づく研究によって、世界が直面する経済発展、社会システム、国際関係、人権、環境、情報、異文化理解等の諸問題に取り組み、かつ将来にわたって各界のリーダーになりうる資質を有する者。

③ 支給期間中に留学している学生は除く。

④ 原則として２０２５年４月１日現在３５歳以下の者を優先。

※奨学金の受給制限がある方（国費外国人留学生など）は、本研究奨学金の受給はできません。申請者自身で、必ず事前に受給制限についてご確認ください。

**支給期間:** ２０２５年６月～２０２７年３月

※２０２６年３月までに修了・学位取得見込みまたは研究指導終了による退学予定の者は、２０２５年６月～２０２６年３月を選択すること。２０２７年３月は選択不可。

**支 給 額 :** 原則として２０，０００米ドル／人

（初・次年度に各１０，０００米ドルを支給します。ただし、次年度については、初年度終了時の中間報告に対する審査後、支給可否を判断します。）

※２０２５年６月～２０２６年３月を選択した者は、１０，０００米ドル。

※２０，０００米ドルの希望で応募しても、選考の結果、１０，０００米ドルの支給のみで採択される可能性があります。

**採用予定人数:** １名程度

**選考:** 書面審査、書面審査合格者を対象とした面接審査（面接審査は６月予定）

Sylff Association

**応募書類と提出方法:**

下記の書類を揃えて、所属の研究科事務所に郵送あるいは持ち込んで提出してください。

① 履歴書（顔写真付き）
② 申請書（所定の様式に記入：研究推進部ウェブサイトよりダウンロード可）
③ 学部および大学院の成績証明書（原本）
④ 担当教員からの推薦状（１通・所定の様式に記入して厳封のこと）

**応募書類ダウンロード**
https://waseda-research-portal.jp/research-fund/sylff/2/

**提出締切:** 所属の研究科事務所へお問い合わせください（例年、４月上旬頃を予定）。

**採用決定時期・奨学金授与式:** ２０２５年６月（予定）

**成果報告:** 奨学生に採用された場合は、中間発表、最終成果発表、成果報告書の提出をしていただきます。

**応募書類提出先: 所属の研究科事務所へお問い合わせください**
**☆担当・問合せ先: 所属の研究科事務所へお問い合わせください**

**研究推進部　　担当: 湯谷・布目・中村 （sylff@list.waseda.jp）**
**ヤングリーダー研究奨学金プログラム**
https://waseda-research-portal.jp/research-fund/sylff/

**Sylffプログラムについて:**

国家・宗教・民族などのあらゆる諸問題が複雑化・多様化する現代社会において、文化や価値の多様性を尊重し、人類の共通の利害のために行動する人材を育てるグローバルなプログラムです。日本を含む世界44ヵ国、69の大学・大学連合の、おもに人文社会科学分野を研究する大学院生を対象に奨学金を授与しています。将来を担うリーダーとしての資質を重視して選ばれた奨学金受給者（Sylffフェロー）は、16,000名を超え、その多くが様々な分野で活躍しています。

Sylffプログラムの創設から30周年を迎えた2017年、Sylff Associationが発足されました。これは世界に広がるフェロー、69大学の運営委員会メンバー、Sylff基金の寄贈者である日本財団そしてSylffプログラムを運営している東京財団政策研究所が、Sylffというアイデンティティのもと、末永く緊密な関係を構築していくことを目的としています。これによりSylffフェローは、様々な知恵や経験を共有し相互の絆を深めるサポートプログラムに参画することができます。

Sylffフェローは、Sylff Associationメンバーとして、当研究奨学金の受給後も、海外研究活動支援をはじめとする様々なサポートプログラムに参画することができます。現役・既卒のフェローが様々なステージで、自身の知恵や経験を高め、世界のフェローと共有し相互の絆を深めることを目的としたものです。

**Sylff Association** https://www.sylff.org/

**東京財団政策研究所** https://www.tkfd.or.jp/

※直接学生に奨学金を提供するのではなく、寄贈された基金の運用益を使って、大学独自の運営委員会の決定により、学生に研究奨学金を提供する点に特徴があります。

■奨学生からのメッセージ